

みんなでつくる 都市計画 Vol.6

問 建築住宅課 都市計画準備室
☎ 0869-24-7320

市では、市民の皆さんが住みたい・住み続けたいと思える安全で快適なまちをつくるため、新たに「都市計画」の導入に取り組んでいます。3月号では、都市計画区域が指定された地域で適用される建物の規模や道路に関するルールについて紹介しました。今回は、都市計画の3つ目の柱である「市街地開発事業」について紹介します。

01 市街地開発事業ってどんな事業？

▶▶▶ 地域の課題を解決し、快適で暮らしやすい環境を整備するための事業です。

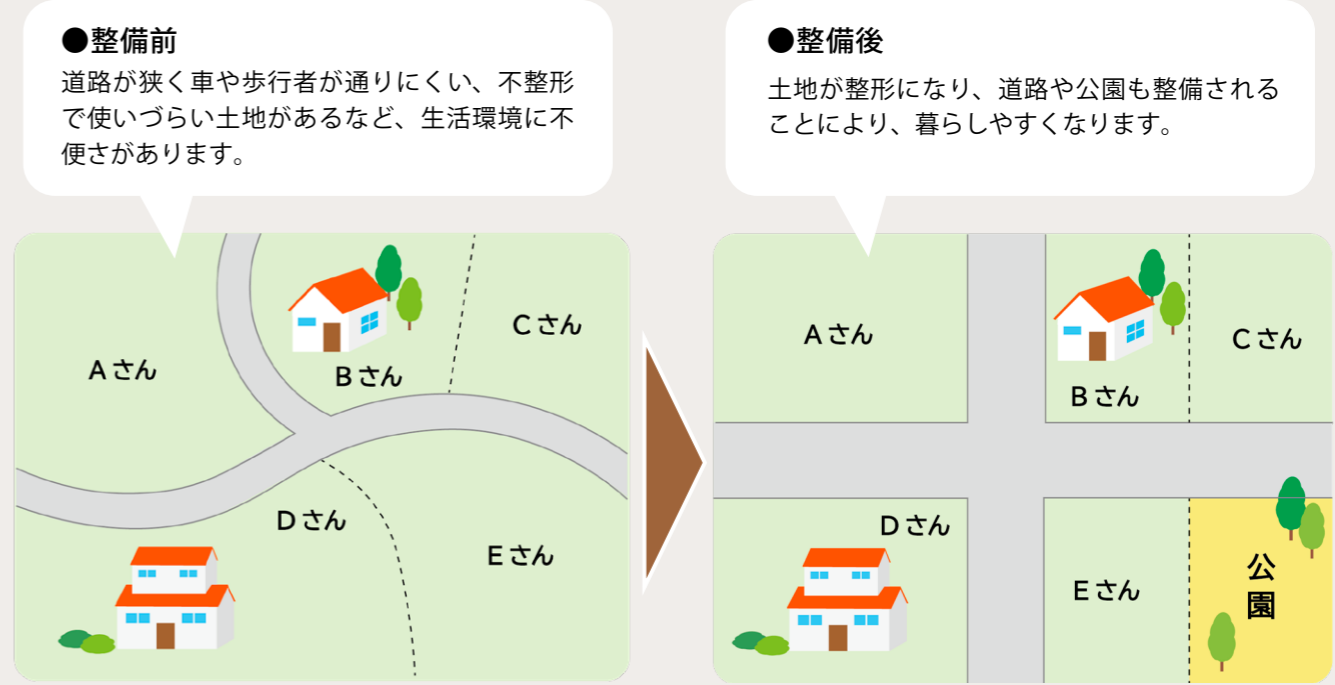
市街地開発事業は、火災の延焼など防災面で不安がある木造住宅密集地や、道路や公園が計画的に整備されていない個別開発などによって形成された無秩序な市街地などを改善し、住民にとって快適で暮らしやすい環境を整備するための事業です。代表的な事業として、土地区画整理事業や市街地再開発事業が挙げられます。ここでは、土地区画整理事業の概要をお伝えします。

市街地開発事業の詳細はこちら▼

国土交通省ホームページ

土地区画整理事業の概要

土地区画整理事業は、土地を効率的に活用することで、まちの利便性を高める事業です。この事業では、地域の土地所有者が協力し合い、道路や公園などの公共施設の整備に必要な土地を少しずつ提供します。事業により、公共施設が整備され、宅地も使いやすい形に改善されることで、住宅や商業施設の開発が進み、まち全体が住みやすく魅力的な地域へと生まれ変わります。



▶▶▶ 次回（8月号予定）は、「都市計画決定の流れ」について紹介します。

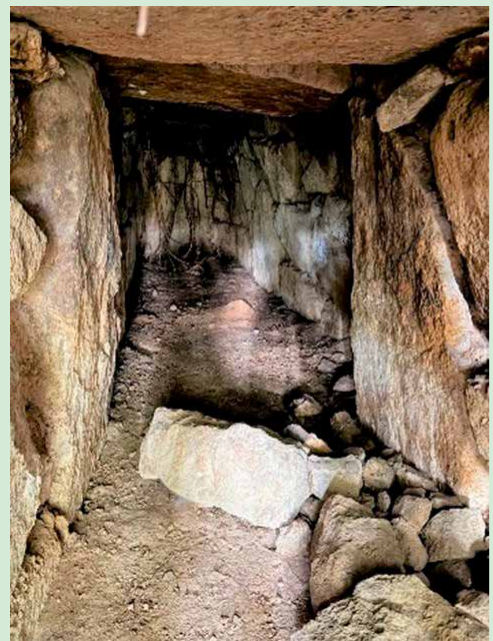
瀬戸内発見伝 巻之百六十一

令和7年度の遺跡調査

市内の遺跡調査活動

瀬戸内市には、古墳、集落跡、城跡、貝塚など多種多様な遺跡が約980件存在しています。市では、これらの遺跡を通じて地域の歴史を伝えていくために、現状確認や新たな発見を目的とした調査を行っています。

令和7年度は地元住民と協力しながら古墳や窯跡など11回の現地調査を行いました。その結果、新規古墳の発見や謎の遺構の確認、過去の人類によって作られた遺物の採取などの成果を得ることができました。本稿では、その成果の一部をご紹介します。



亥子田二号墳

亥子田古墳群

桂山南西側に位置する亥子田古墳群（長船町西須恵）出土資料が市に保管されているため、出土位置の調査を行いました。その結果、これまで確認されていた6基の古墳に加え、新たに1基発見し「亥

子田七号墳」と名付けました。本古墳群の石室は一部破壊されているものの良好な保存状態を保ち、特に亥子田二号墳では全長約10メートルにおよぶ片袖式石室が確認されました。今回の調査により、市保管資料の出土地が分かり、本古墳群の性格をさらに深く探ることができるようになりました。

天神山古墳

牛窓湾に築かれた5基の前方後円墳のうち、天神山古墳において、地元住民から埴輪が落ちていると連絡を受け、現地を確認しました。天神山古墳は全長約85メートル、出土埴輪や古墳の形から4世紀中頃から後半に築かれたと考えられています。本市の前方後円墳の中で最古級のもので、資料数も少なく、今回採取した埴輪は地域の歴史的価値を知る手がかりとなります。

邑久古窯跡群

瀬戸内市から備前市にかけて邑久古窯跡群と呼ばれる約130基もの須恵器窯跡群があります。今回は邑久古窯跡群のうち土橋窯跡と更谷窯跡周辺を調査したところ、どちらの窯周辺でも須恵器片が確認され、窯本体の位置を絞り込む成果を得ました。

桂山山頂の石組

地元住民から桂山（長船町）の山頂に人の手によると思われる石組や土塁状の構造物があると連絡を受け、調査を実施しました。桂山には正通寺（長船町土師）の前身とされる寺があったと伝わっており、その痕跡の可能性が考えられますが、瓦など遺物は発見されておら



桂山山頂の石組